

小川美彦氏の思い出

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 明治大学政経資料センター 公開日: 2012-05-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 今泉, 準一 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10291/12576

小川美彦氏の思い出

今 泉 準 一

遠くて近い仲、小川美彦氏との交友を思うとこんな語が浮かんでくる。氏とゆっくり酒でも酌み交わしながら一時の閑談などという機会はずいぶん一度も持てないでしまった。しかし時折出会ったときの会話など何か学校時代の同期生と話し合うような親しさで話し合えたような気がする。

小川氏とはじめて出会ったのは入試の採点のときであった。二十年以上も前のことである。当時、国語の非常勤講師であった私は採点のお手伝いで食事のとき、英語科の方々と一緒に部屋であった。後で考えれば偶然そのときそうであったというだけのことだったのであるが、ちょっと皆から離れて一人黙々と食事をしている、いかにも無表情で、ちょっと孤独な感じであった氏の姿が妙に印象に残ったことを覚えている。二度目に接したのは専任になってまだ何日も経っていないある日、和泉だけの会合があった、このとき理由は忘れたが遅刻をした。恐縮して空いている席へそっと座ったとき、隣に座っていたのが小川氏である。新参教師だし、まだ年も若かったからかけ足でやってきたので、座ったらどっと汗が噴き出し、これには閉口した。その時である。氏は扇子を

私の横に置いてくれた。もっともこのとき周りの人たちも遅刻を責めるような様子はまったくなかった。私はいい職場に入れたと思い、また小川氏の親切に感謝した。

学校のしきたりで、二年目に入試整理委員になった。当時は整理委員と言ったが、いつの間にかこの名称は消えてしまったが、言い得て妙といまも私は思う。文字通り整理である。当時はすべてが手作業であったから、日数も長く、業務が終わったときはもうくたくたである。その慰労を兼ねてのものであろう。たしか反省会と言ったような名目だったと思うが、伊豆へ一泊旅行があった。この帰りである。電車はかなり込んでいた。各自分散して乗り、小川氏と偶然隣り合わせ、たしか立ったままだったと思うが、東京駅まで話し込んだことがある。こんなに長時間二人で話し合ったのはこれが初めて最後ではなかったかと思う。

このとき、小川氏が密教に詳しいことを知った。大日如来に関心があり、また戦前によく口にされていた空海観に疑問があった私は氏の話に興深く聞いた。というより氏が一方的にまくしたてるように話すのをただ私は聞いていただけで東京駅に着いてしまった、と言った方が適当かも知れない。大日如来、空海その他密教そのもののことについては、是非は別として、特に大日思想や密教的思考は簡単に死滅するものではない、という考えが一方にあった私は氏の話に驚きとともに聞いていたのである。しかし、このことはとにかく、その時感じたことは、旧制高校時代のいわゆる談論風発、これがそのまま大人になったような人だと思った。

これがきっかけで、とにかく私は氏を理解したし、氏もまたあるいは私に親しみを感じたのかも知れない。かなり、づけづけとものをいうようになる。あるとき、国語の入試問題について烈しく批難したことがある。もちろん私だってこれを完全なものと思っていない。聞いていると一理も二理もある。私も氏の性格を理解していた親しさもあって、聞き終わって、「できない相談だね」と答えた。氏は果たしてはなはだ不服そうな顔をして話を打ち切ってしまった。その夜、氏から電話があった。かなり酔っていたようである。氏は、私の率直

な答えを謝し、ふたたび同じことを前述の電車の中での会話と同じでまくしたてるように述べた。結果としては私のいうことも理解してくれていたようである。しかし、このような言い方は人に誤解を受けることも生じよう

一時が万事である。こんなことはその後も何回かあった。結果はいつも同じである。私の退嬰的態度を責めはするが、私の言に感謝するというような意味の語を述べもした。私は一方で素直なところのある方だな、とその都度思った。小川氏の思い出はこのように書いて行くと、いろいろのことが思い出されて尽きないものがある。とにかくユニークな方であった。御冥福を祈る次第である。

実はこの原稿を書くように編集委員の方から言われたのは夏休み前であった。御承知のように、この夏休み中にわれわれは二人の同僚を失ってしまった。小川氏もそうであるが、それよりもお二人は私よりさらに若い。年上の方の場合でも悲しみは同じであるが、年下の方の不幸の場合何ともいいようのない淋しさを同時に感じる。これは私の年齢のゆえであろうか。この原稿ももしお二人の御不幸がなかったらもっと別な書き方になったかも知れない。